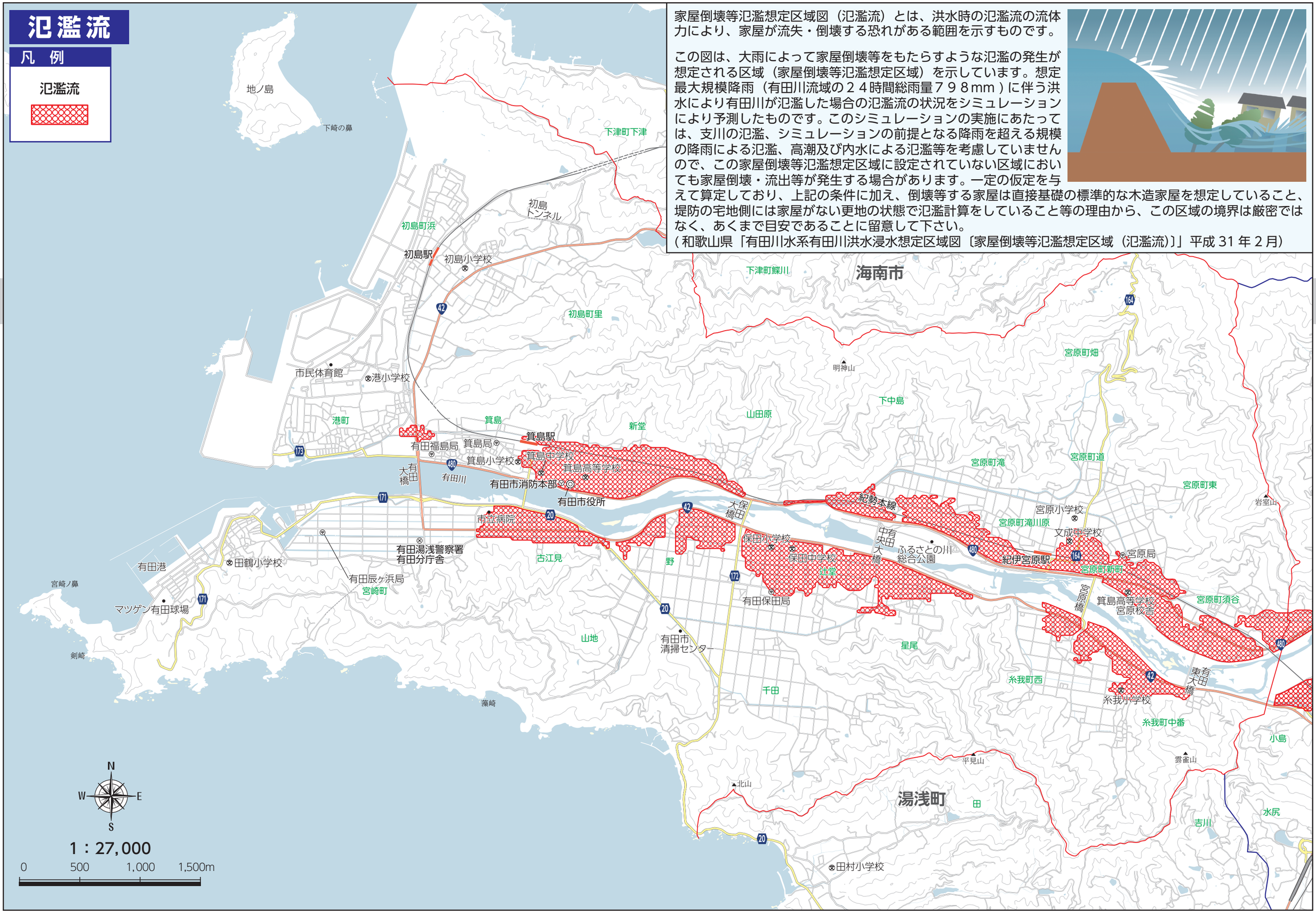
氾濫流

凡　例

氾濫流

家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）とは、洪水時の氾濫流の流体力により、家屋が流失・倒壊する恐れがある範囲を示すものです。

この図は、大雨によって家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を示しています。想定最大規模降雨（有田川流域の２４時間総雨量７９８mm）に伴う洪水により有田川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。一定の仮定を与えて算定しており、上記の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

（和歌山県「有田川水系有田川洪水浸水想定区域図〔家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）〕」平成 31 年 2 月）